

宮路拓馬 国会通信

■ 安倍晋三自民党総裁が再選 「新三本の矢」の実現へ始動

9月24日の自民党両院議員総会において自民党総裁に再選された安倍晋三総裁は、①希望を生み出す強い経済（GDP600兆円）②夢を紡ぐ子育て支援（出生率：1.8%）③安心につながる社会保障（介護離職ゼロ）の「新3本の矢」を示し、日本社会の構造的課題ともいえる少子高齢化問題に正面から取り組む姿勢を示しました。

自民党が一丸となって、日本経済の再生、そして地方創生の実現に向け頑張っています！



(9月24日 自民党本部)

■ 第189回通常国会閉幕 平和安全法制など重要法案成立

9月27日、私にとって初めての、そして、245日間という史上最長の会期となった今通常国会も閉幕となりました。

平和安全法制、農協改革法案、電力自由化法案、労働者派遣法改正案など「戦後最大の改革」として、政権にとっての最重要課題に位置付けられていた法案については成立することができました。

次期国会では、今国会で成立できなかった、企業や消費者の契約ルールなどを

大幅に見直す民法改正案（制定以来120年ぶりの大改正！）をはじめ、国民生活の向上にかかわる法案の早期成立に向け頑張っています！



(9月25日 最終回の衆議院本会議場)

■ 自民党派閥は近未来政治研究会 (石原派)に所属

今通常国会終了後に自民党の近未来政治研究会に所属することといたしました。

同会は石原伸晃先生を会長とし、野田毅党税制調査会最高顧問や平沢勝栄先生といった党内きっての政策通に加え、保岡興治先生、森山裕先生、金子万寿夫先生といった鹿児島選出の国会議員が多数在籍し、私もその下で研鑽を積ませていただくことになりました。

同会唯一の一期生議員として、先輩方のご指導をいただきながら、雑巾がけから頑張っています！



(近未来政治研究会 石原伸晃会長と)

■ 奄美大島視察 自民党九州沖縄がまだす会

9月30日から2日間の日程で、自民党の九州・沖縄選出の国会議員有志で組織する「九州沖縄がまだす(熊本弁で「頑張る」の意)会」で、奄美大島を視察しました。

現地では、農業の6次産業化への取り組みや観光など島の重点産業を視察し、朝山毅奄美市長ら地元の市町村長の皆様と意見交換を行いました。

今回の視察を踏まえ、大島紬などの伝統産業振興や奄美群島の世界自然遺産登録を含めた観光振興など、奄美の地方創生実現に取り組んでまいります！



(10月1日 大島紬村)

■ 安倍新内閣、自民党役員人事 決まる

10月7日、安倍新内閣と自民党役員人事が決まりました。安倍首相は、「未来へ挑戦する内閣」と名付け、50年後も人口1億人を維持し、誰もが活躍できる社会をつくると述べられました。

鹿児島県からは森山裕先生が農林水産大臣に就任されました。TPPの大筋合意を受け、これから我が国の農業は正念場を迎えます。私も衆議院農林水産委員会の一員として、明日に希望の持てる農業とするため、森山新大臣を一生懸命お支えしてまいります！

また、私も所属している自民党無駄撲滅PT座長の河野太郎先生が行政改革担当大臣に就任されました。国民の皆さんに税金の負担をいただいて予算を執行している以上、まずは行政の無駄を徹底

的に省かなければなりません。私も引き続き同PTのメンバーとして税金の無駄遣いをチェックしていくとともに、誰もが自分の持つ能力を発揮し活躍できる社会づくりに向けて頑張ってまいります！



(9月18日 自民党行革本部会議室)

■ 高温ガス炉施設視察 自民党高温ガス炉推進議連

10月13日、野田毅先生が会長を務める「自民党高温ガス炉推進議員連盟」で茨城県大洗町の高温工学試験研究炉を視察しました。

高温ガス炉は冷却材としてヘリウムガスを使用する新世代の原子炉で、現在主流となっている軽水炉(冷却材に水を使用。川内原発も軽水炉です)に比べて出力は低いものの、放射性物質の放出の危険性は原理上ほぼありえず、安全性に優れています。また、発電の過程で生み出される蒸気を地域暖房に、水素を燃料電池自動車に、それぞれ利用できるなど、次世代原子炉の一つとして注目されています。

安全性を第一に考えるとともに、エネルギーの安定供給や地球温暖化防止の観点から、今後、高温ガス炉の研究開発を支援していきたいと思っております！



(10月13日 高温工学試験研究炉)